

チャリティコンサート for 熊本地震

～熊本の皆さまと共に～



指揮 右近大次郎

震度7の地震に2回襲われた益城町の益城町文化会館はとても美しい、音響も日本屈指のものでしたが、今回の震災で破損し、当分は使用できなくなりました。余震が続く中、避難生活で緊張を強いられる今こそ、住民の方々に文化・芸術の力で元気になっていただければとの願いをこめて、収益金をすべて同会館に寄付し、憩いの場・時間作りに役立てていただきたいと思います。

交響曲第9番

ベートーヴェン作曲 より第4楽章

五木の子守歌（熊本民謡 編曲/リー・ジェーホン（韓国））

おてもやん（熊本民謡 編曲/リー・ジェーホン（韓国））

宇目のうたげんか（大分民謡 編曲/愷降信（台湾））

ふるさと（民謡 編曲/愷降信（台湾））

歌や器楽のソリストたち他によるソロ曲

ソロ

Sop 見角悠代（交響曲第9番独唱）

Sop 本宮廉子（小林秀雄「落葉松」）

Alt 田村由貴絵（交響曲第9番独唱）

Alt 池端歩（バッハ「マタイ受難曲」より「憐れみ給え、わが神よ」）

Ten 長尾隆央（中田喜直「悲しくなったときは」他）

Bas 大井哲也（ロッキーニ「セビリアの理髪師」より私は町の何でも屋）

Bas 下瀬太郎（交響曲第9番独唱）

Vn 高橋真珠（バッハ「無伴奏バイオリンソナタ第三番」より）

Fl 鈴木あや（イベール「フルート協奏曲」より第2楽章）

Pf 越前佳織、鈴木祐子、名取かほり、日高麻子、
小松美智子

演奏

熊本大学フィルハーモニーオーケストラ 関東同窓会

チャリティー for 熊本地震アンサンブル

コンサートマスター：大川内弘

合唱

チャリティー for 熊本地震合唱団

2016 8/14 (日) 13:30 開場 14:00 開演

小金井宮地楽器ホール(中央線武蔵小金井駅南口)

全自由席 1000円

収益金すべてを益城町文化会館に寄付させていただきます。

出演者・曲目・曲順は変更になる場合がございます

■チケットお取扱い 認定 NPO 法人おんがくの共同作業場 042-522-3943

■主催 チャリティコンサート for 熊本地震実行委員会

<http://www.kumamoto2016.info/>

■共催 認定 NPO 法人おんがくの共同作業場 <http://gmaweb.net/npo/>

■後援 小金井市 ■協力 熊本県ものづくり工業会

音楽の力を信じて

4月14日及び16日に発生したマグニチュード7の熊本地震は、大きな被害をもたらしました。余震はいまも完全には収まっていません。行政の努力によって学校などはそのほとんどが再開し、熊本空港も6月に全線復旧を果たしました。崩壊した建物や道路などに大きな爪痕が残るものの、報道を見ていると、熊本の復旧は速やかに行われているようにも見えます。しかし、住宅被害数は約8万6千棟を超えています。現在も調査中ということですから、この数はもっと増えるかもしれません。また保険の支払額が阪神・淡路大震災の額を超え、史上第2位となることもわかっています。地震発生から2ヵ月以上経過した今も、揺れの記憶が恐怖を呼び、余震を恐れ、家の中に入ることができず、車中泊を続ける人がいます。そのような巨大な打撃を受けた地域に対しては、継続した支援が必要であることは論を俟ちません。

私事で恐縮ですが、私の友人がボランティアで熊本へ行きました。2泊3日の間に起きた余震は40回。いつもなら気づきもしない震度2の地震でさえ、夜は眠れなかったとのことでした。

今回、チャリティーコンサート for 熊本地震を開催するにあたり、まず考えたのは、熊本の方々にどうやって東京からエールを送るかということでした。幸いなことに熊本大学フィルハーモニーオーケストラ関東同窓会の方々とお話をさせていただくことができ、この企画が実現しました。熊本出身の方、熊本に深いゆかりのある方々と共に音楽を奏で、一緒にエールを送ることが出来ます。

このたび、震度7の地震に2回襲われた益城町の益城町文化会館の館長と連絡がとれました。益城町文化会館はとても美しいホールで、音響も日本屈指のものでしたが、今回の震災で破損し、当分は使用できないとのこと。私は、緊張を強いられる日々こそ文化、芸術の力が役に立つと信じています。そこで、今回の収益金につきましては、そのすべてを住民の方々の憩いの場、時間作りに役立てていただくために同益城町文化会館に寄付したいと考えています。

右近大次郎

◆指揮 右近 大次郎

Queens College, Aaron Copland School of Music 音楽学部卒業、同大学院指揮科卒業、同大学院在籍中より指揮活動開始。08年帰国、18世紀音楽研究会/ヘイトンコレギウムを設立。ハノイ遷都1000年記念コンサート(マラー『交響曲第8番』/ベトナム初演/指揮:本名徹次)に日本より参加した合唱団を指導し高評価を得た。グラーツにて行われた指揮マスタークラス・コンクール2位。日大芸術学部非常勤講師。

◆ソプラノ 見角 悠代

東京音楽大学音楽学部声楽科声楽演奏家コース卒業、同大学院修士課程を首席で修了。東日本大震災後に作曲家・伊藤康英氏が福島に詩人・和合亮一氏のツイッターのつぶやきの言葉に次々と作曲した歌曲を初演。東京音楽大学非常勤研究員。東京室内歌劇場会員。二期会会員。

◆ソプラノ 本宮 麻子

日本大学芸術学部音楽学科卒業、同大学院修了。宗教曲のソリストとして出演する他、アンサンブル活動も多数。上田益作曲『レクイエム』をブラハ、ウィーンにて演奏、今秋イタリアでの公演決定。丹羽勝海、酒井伊吹子の各氏に師事、L.ヌバー、D.ポールドウィン、E.アメリック諸氏のレッスンを受講し研鑽を積む。

◆メソソプラノ 田村 由貴絵

お茶の水女子大学フランス文学専攻卒業、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院オペラ専攻修了。二期会オペラ研究所修了、中山梯一賞受賞。多くのオペラ、コンサートに出演し高い評価を得ている。日本大学芸術学部非常勤講師。日本声楽アカデミー会員。二期会会員。

◆メソソプラノ 池端 歩

東京音楽大学院修了。二期会研究所マスタークラス修了。関西フランス音楽コンクール第1位、仏声楽コンクール第2位及び日本歌曲賞受賞。オペラ、宗教曲のソリストとしてオーケストラと共演の他、フランス歌曲の研究・演奏にも意欲的に取り組んでいる。二期会会員。

◆テノール 長尾 隆央

青森市出身。国立音楽大学声楽科、同大学院歌曲科ドイツ歌曲専攻修了。大学院修了時、大学院新人演奏会、青森県同調会新人演奏会に出演。オペラにおいては『魔笛』タミーノ、ブッチーニ『蝶々夫人』ゴローでヨーロッパデビューするなど活躍の場を広げている。男声カルテット「エレガントノーツ」メンバー。

◆バス 大井 哲也

東京芸術大学音楽学部声楽科、同大学院修士課程オペラ専攻修了。二期会オペラ研究所マスタークラス修了、修了時に優秀賞受賞。同研究所プロフェッショナルコース修了。パッサ・コレギウム・ジャパンの国内外の演奏、レコーディングに参加。小澤征爾音楽塾に第1回公演から参加。ドイツ/ミュンヘンに留学。魔笛公演が佐川吉男音楽賞奨励賞を受賞。

◆バス 下瀬 太郎

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。同大学院オペラ研究領域修了。モーツァルト作曲『ドン・ジョヴァンニ』レポレッコ役、ロッシーニ作曲『ラ・チェネレントラ』ドン・マニーフィコ役、東京室内歌劇場公演にてラヴェル作曲『子供と魔法』肘掛け椅子役などを好演。

◆ヴァイオリン 高橋 真珠

桐朋女子高等学校音楽科、同大学ディプロマを経てアメリカに留学。ティボーヴァルガフェスティバルに参加しスカラシップを授与。シンシナティ音楽大学及びクリーブランド音楽院(修士課程)卒業後、兵庫芸術文化センター管弦楽団、香港 sinfonietta、及びニュージーランド、オークランド管弦楽団に務めた後、近年帰国し三重に在住。

◆フルート 鈴木 あや

日本大学芸術学部、同大学芸術学研究科博士前期課程音楽芸術専攻卒業。ヤマハ及び国際芸術連盟新人演奏会、大学院修了演奏会、ドルチェ楽器デビューコンサート、日本フィル丸の内支部主催演奏会に出演。フルートの特殊奏法の歴史と奏者から見た記譜法についての修士副論文が紹介された。

